

苦情相談テスト

平成28年度における苦情相談テストの総件数は18件であり、前年度と比べて13件の減少となった。分類別では、住居品に関するものが最も多く11件で61.1%を占めた。次いで教養娯楽品に関するものが2件で11.1%、食料品、被服品等5分類に関するものが各1件でそれぞれ5.6%であった。

また、18件のうち、原因究明のために独立行政法人国民生活センターへ1件、独立行政法人製品評価技術基盤機構（通称：NITE）北陸支所へ2件のテストを依頼した。

件数 分類(※)	件数		項目数		検体数		件数/全体(%)	
	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27
食料品	1	1	2	2	6	5	5.6	3.2
住居品	11	8	12	11	20	16	61.1	25.8
光熱水品	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
被服品	1	2	3	3	9	6	5.6	6.5
保健衛生品	1	2	1	4	1	2	5.6	6.5
教養娯楽品	2	4	3	9	3	7	11.1	12.9
車両・乗り物	0	2	0	2	0	2	0.0	6.5
土地・建物・設備	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
その他の商品	0	1	0	1	0	1	0.0	3.2
クリーニング(被服品)	1	11	1	11	4	37	5.6	35.5
クリーニング(その他)	1	0	1	0	2	0	5.6	0.0
合計	18	31	23	43	45	76	100.0	100.0

※分類は、(独)国民生活センターの「消費生活年報」による

<主なテスト事例>

分類	安全性テスト	品質テスト
食料品	-	乾燥トウモロコシの品質
住居品	圧力鍋の不具合など	フライパンの焦げ付きなど
被服品	-	三分丈ズボンの不具合
保健衛生品	香水の瓶の不具合	-
教養娯楽品	-	接着剤の不具合など
クリーニング(被服品)	-	スカートの縮み
クリーニング(その他)	-	花嫁暖簾の変色